

風力発電設備に関する構造基準の合理化について

1. JIS 材と国際規格・海外規格材との比較、受入れについて

(1) 現在までの検討状況

- ・ 一定の条件を満たす海外規格材について、JIS 適合材として受け入れるための「海外規格材の JIS 適合確認ガイドライン (案)」(以下、ガイドライン) を作成中。

(2) 今後の予定

- ・ ガイドラインの作成後、特定行政庁、確認検査機関に周知し、運用開始予定

2. アンカーボルトの基準強度の制定について

- ・ アンカーボルトの基準強度規定に係る審査プロセスを明確化するとともに評価方法の統一を図るため、「アンカーボルトセット (材料) の評価マニュアル」を作成、運用開始。

3. 地震時 (L2) における検証方法の緩和

(1) 現在までの検討状況

- ・ 高さや地盤条件など一定の適用範囲内の風力発電設備について、時刻歴計算以外に、応答スペクトル法による検証が可能であることを確認済み。

(2) 今後の予定

- ・ 応答スペクトル法による検証方法に関する資料作成
(・ 電気事業法への一本化に合わせて導入予定)